

2021年衆議院議員選挙 立候補予定者への石木ダムについてのアンケート

選挙区		1			2	3		4	
立候補予定者名		西岡秀子	初村滝一郎	安江綾子	松平浩一	山田勝彦	山田博司	北村誠吾	末次精一
2021/9/20現在所属政党		国民民主党	自民党	共産党	立憲民主党	立憲民主党	無所属	自民党	立憲民主党
1	長崎県が計画する石木ダムの予定地（川原地区）に、13世帯50余名の住民が生活し続けていることを知っていますか。	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている
2	長崎県が1982年に石木ダム建設に必要な測量のために機動隊140名を動員したことを知っていますか。	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている
3	あなたは、長崎県が石木ダム建設を強行し、長崎県職員が小さな子どもを含む川原地区の住民を実力で排除することに賛成ですか、反対ですか。	反対	無回答	反対	反対	反対	反対	反対	反対
4	石木ダムの建設目的を知っていますか。	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている
5	長崎県は、石木ダム建設の根拠の一つとして、佐世保市の水不足対策をあげています。しかし、佐世保市の水道使用量の実績は減少傾向にあります。このことを知っていますか。	知っている	回答をさしひかえる	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている
6	佐世保市は、佐世保市の水道使用量が今後増加傾向に転ずると予測しています。この予測は合理的だと思いますか。	その他 ※1	回答をさしひかえる	合理的ではない	合理的ではない	合理的ではない	合理的ではない	合理的である	合理的ではない
7	佐世保市の水道施設が老朽化しており、漏水対策が厚労省の基準に達していないことを知っていますか。	知っている	回答をさしひかえる	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている ※3	知っている
8	石木ダムが計画されている川棚川水系の水害対策として、優先すべき対策はどのような対策と考えておられますか。	その他 ※2	回答をさしひかえる	①河道掘削 ②堤防整備	堤防整備 河道掘削	堤防整備 河道掘削	堤防整備	石木ダム建設	堤防整備
9	石木ダムの目的の一つは川棚川の洪水対策で、計画雨量は24時間最大で400mmと設定されています。今年8月中旬の豪雨では583mm（特に石木川上流域の総雨量は1000mm超を記録しましたが、川棚川の流域に洪水被害はまったくありませんでした。このことをご存知ですか。	知っている	知っている	知っている	知っている	知っている	知らない	知っている ※4	知っている
10	日本弁護士連合会が石木ダムの建設中止を求める意見書を公表していることを知っていますか。	知っている	知っている	知っている	知っている	知らない	知らない	知っている	知っている
11	2017年に民間が行った調査では、石木ダム建設に賛成する人の割合が反対する人の割合より低く、約8割の人がダム計画についての長崎県の説明が「不十分」と回答したことを知っていますか。	知らない	知っている	知っている	知っている	知っている	知らない	無回答	知っている

※1 「この判断を下すための全ての材料を持ちあわせていない」

※2 「一概に優先順位をつけることは困難」

※3 「施設の基幹部分の超老朽化により漏水対策もダムなしには根本的施工が困難と聴いている」

※4 「海水の干満潮位による低地市街の浸水が発生するのでは」

自由記述

初村滝一郎	大型公共事業のあり方については、必要性については十分吟味することはもちろんですが、現在だけでなく将来の備えとしての役割も果たせるようにしていく必要があります。石木ダムについては、国事業取り消しの訴えを最高裁が棄却しており、法治国家として、行政が法に基づいて必要な措置を講じていくものと考えております。
安江綾子	石木ダム問題は人権の問題です。地権者のみなさんが安心して生活できる社会・政治になるように精一杯がんばります。
松平浩一	ダム事業について中立、独立の機関による審査がなされた検証手続きを行い、必要性等を精査すべき。
山田勝彦	ダムの公共性の再検証が必要です。利水も治水も代替案をテーブルに挙げ、白紙ベースでの協議を行うべきです。人権を無視した強制的手法には、明確に反対します。そして、地権者の皆さんだけの問題ではなく、私たち長崎県民にとっての環境問題です。自然破壊は大村湾を含む生態系へ確実に悪影響を与えるものと思われまます。県民的議論を深めるための情報公開を求めていきます。
北村誠吾	土地収用法の適用が必要とされる事態となり適法に計画は公共事業として国民の福祉の為に行われるべき。
末次精一	工事阻止に向けて頑張りましょう！

※アンケート発送時点で次期衆院選へ立候補予定であり、連絡先が把握できた方へアンケートを依頼しました。

※依頼した方のうち、回答をいただいた8名の方の回答を一覧表にまとめました。（谷川弥一、瀬川光之、加藤竜祥、各氏からは回答がありませんでした）